

令和8年度

シラバス(専門教科)

～生活情報科 3年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

生活情報科 3年 専門教科

生活コース

- 1 課題研究
- 2 生活産業情報
- 3 服飾手芸
- 4 フードデザイン

情報コース

- 1 課題研究
- 2 総合実践
- 3 ビジネス・コミュニケーション
- 4 観光ビジネス
- 5 ソフトウェア活用

<h1>課題研究</h1>	単 位	4 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る研究を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を身につける。
使用教科書・副教材等	なし

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 5 3 学 期	1 オリエンテーション 2 各自で研究に取り組む。 「被服製作」 ・ 自由作品の製作 ・ 文化祭でのステージ発表 「家庭科研究・茶道」 ・ 茶道、着付けに関する知識・技術の習得 ・ 家庭科に関する研究 3 課題研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「被服製作」「家庭科研究・茶道」の2つの講座に分かれて各自課題を見つけ、研究テーマを決める。 ・ 家庭科に関する各科目の学習で身につけた専門的な知識と技術を駆使し、課題を解決するために主体的に行動する力を身につける。 ・ 問題解決のため、計画的に学習活動を進める力を身につける。 ・ 研究内容をまとめて、レポートを作成しプロジェクターを使用し、発表することで、自分の考えを他者に伝える力を身につける。 	被服製作選択者は文化祭で着装して発表

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	生活産業の各分野に関する専門的な知識・技術を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 実習の活動状況 ・ 作品の完成度
思考・判断・表現	設定した課題解決のため、これまで学習した専門的な知識を生かした方法を考え、選択及び実践することができる。	
主体的に学習に取り組む態度	生活産業に関する各分野について興味・関心をもち、授業に積極的に参加している。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

生活産業情報	単 位	3 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次履修した「生活産業情報」の基本的内容を踏まえ、発展的な情報処理に関する技術を身につける。 ・ 衣食住、ヒューマンサービスなどの各分野における生活産業の内容や職業への関心を高める。 ・ 生活産業や関連する職業に必要な知識と技術を進んで習得し、職業人として活用できる知識と技術を身につける。
使用教科書・副教材等	生活産業情報（実教出版） 日本情報処理検定協会主催問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	情報化の進展と生活産業 情報モラルとセキュリティ 情報の処理・分析・発信 アプリケーションの基本操作 ・ワープロソフト利用 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済や科学技術等の発展に伴う産業構造の変化を理解する。 ・ ネットワーク社会における危険性や問題点を理解し、適切な情報発信ができるようになる。 ・ 文書作成の技術と知識を身につける。 ・ コンピュータの基本構成について理解する。 ・ アルゴリズムの表現方法とプログラミングに関する基礎的・基本的な知識や技術を習得する。 	日本情報処理 検定主催文書 デザイン検定 実施
2	アプリケーションの基本操作 ・表計算ソフト利用 ・プレゼンテーションソフトの利 用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理の技術と知識を身につける。 ・ 文書作成の技術と知識を身につける。 ・ プレゼンテーションの技術を身につける。 	日本情報処理 検定協会主催 日本語ワー プロ検定実施
3 学 期	生活産業に関連した情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解する。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	生活産業情報に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 実習における作業の状況 ・ 学習活動の参加状況
思考・判断・表現	情報収集や活用における基本的な知識を身につけ、それらを実生活のなかで活用することができている。 生活産業の各分野において、生活の質の向上につながる商品やサービスを提案したりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し意欲的に活用しようとしている。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>服飾手芸</h1>	単 位	4 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を身につける。
使用教科書・副教材等	副教材：家庭科問題集 被服編（全国高等学校家庭科教育振興会） 準教科書：文化ファッション大系服飾関連専門講座8 手芸（文化出版局）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学 期	1 手芸の種類と特徴 【基本作品製作1】 2 色相環と配色 【自由作品製作1】	刺しゅう、編み物、染色、織物等の手芸の歴史を理解する。 【基本作品製作1】 手芸の技法を用いて、基本的な製作方法を身につける。 色相環や配色についての基本を学ぶ。 【自由作品製作1】 基本製作で学んだ技法を生かしながら、各自のデザインによる製作をする。	
2 学 期	2 手芸の変遷 【基本作品製作2】 【自由作品製作2】 3 服飾材料としての各種手芸の技法 【基本作品製作3】 【自由作品製作3】 【卒業製作】	手芸の変遷について学び、文化の変遷について考える。 【基本作品製作2】 手芸の技法を用いて、基本的な製作方法を身につける。 【自由作品製作2】 基本製作で学んだ技法を生かしながら、各自のデザインによる製作をする。 【基本作品製作3】 手芸の技法を用いて、基本的な製作方法を身につける。 【自由作品製作3】 基本製作で学んだ技法を生かしながら、各自のデザインによる製作をする。	
3 学 期	【卒業製作】	様々な手芸技法について学び、学んだ手芸技法を使った作品を製作することで、技術の深化を図る。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	服飾手芸に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、理解している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた
思考・判断・表現	服飾手芸についての基本的な知識を身に付け、よりよい作品完成に向けて工夫し、その方法を選択することができる。 服飾手芸の充実向上を図るための実践的な技術の習得ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況 ・ 実習における作業の状況
主体的に学習に取り組む態度	服飾手芸について興味・関心を持ち、授業に積極的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への取り組みや態度
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

フードデザイン	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第 3 学年

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得する。 ・ 食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。 ・ 食生活の充実・向上を目指して、自ら実践する能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	フードデザイン (実教出版) フードデザインワークノート (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学期	調理と献立 テーブルコーディネート 栄養素・食品の特徴 食品の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事のサービス方法とマナーを身につける。 ・ 食品の特徴とその成分、調理上の性質及び調理による成分の変化などについて知り、その効果を考える。 ・ 食品を調理する目的を知る。 ・ 健康食品やインスタント食品などについて正しい知識を身につける。 ・ 保健機能食品について理解する。 	
2 学期	食品加工の目的 調理と献立 1 調理の基本 2 ライフステージと食事計画 3 献立作成 4 様式別の献立と調理・食卓作法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加工食品について理解する。 ・ 食品の性質と加工、貯蔵の方法や食品の表示について理解し、適切な選択ができるようにする。 ・ 非加熱操作について理解する。 ・ 基本的な調理技術を身につける。 ・ 日本人の食事摂取基準について知り、食事と運動とのかかわり、年齢やライフステージに応じた栄養摂取の在り方を理解する。 ・ 献立を作成するための留意点を理解する。 ・ 望ましい献立作成ができる能力を養い、調理実習を通して全体のバランスや予算、時間配分を考える力を身につける。 	
3 学期	4 様式別の献立と調理・食卓作法 5 食文化を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーブルコーディネートの基本事項を踏まえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりができる技術を身につける。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活に関する基礎的、基本的な知識を身につけているか。 ・ 日常の食事作りに関する基礎的、基本的な技術を身につけるとともに、テーマに合わせた食事の献立が作成できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 ・ 配布物の管理
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活について見直し、問題点を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題やレポートの内容や提出状況
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活に関して興味関心を持ち、献立作成や授業、調理実習に意欲的に取り組む実践的な態度を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献立作成 ・ 実習の取り組み状況 ・ 発言や発表の仕方と態度 ・ 実習の準備・忘れ物
【観点別学習状況の評価】		
「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>課題研究</h1>	単 位	4 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第3学年 情報コース

1 学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	商業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育成します。
使用教科書・副教材等	生徒の興味、関心、進路に応じて課題を設定させるため各自で準備します。電卓実務検定模擬問題集・ビジネス文書実務検定試験問題集・ビジネス情報、プログラミング問題集・日商簿記問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	1 「課題研究」の学習についてのガイダンス 2 各自のテーマの設定・年間計画の作成・学習内容の設定 ※ 「課題研究」は、 ① 職業資格の取得 ② 調査・研究・実験 ③ 産業現場での実習 ④ 作品制作 から2つ以上学習していきます。 3 パソコンやプログラミングを学ぶ。 4 日商簿記2, 3級の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「課題研究」の内容を説明します。また、提出物の注意事項、評価基準について説明します。 ・ 1年間に実施される職業資格を調査し、その中から取得し受けたい職業資格を選択します。その職業資格取得に向けて具体的な学習の計画を立てます。 ・ 「情報処理」等で学習したプログラミングについて、VBA以外の言語で簡単な実習をしていき、情報処理技術者への興味・関心を高めていきます。また、表計算ソフトExcelで複数の関数の組み合わせ等を演習問題で理解を深め、業務改善へのきっかけづくりにしていきます。 ・ 受験対策で弱点の克服にあたります。 	
2 学	5 中間発表 6 「農林館まつり」への取組「農林ピザ」やオリジナル弁当の提供に向けての準備・試作・予算編成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで学習してきたことをどのように発表するか準備を進めていきましょう。 ※ 100トン窯の活用や学校活性化、地域貢献につながるよう、生活情報科(情報コース・生活コース)だけでなく、農林技術科とも連携し、「農林館まつり」を成功させます。 	
3 学 期	7 活動のまとめおよび発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題研究発表会で取組の発表をします。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	分野別学習(簿記、電卓、ビジネス文書、ビジネス情報、プログラミング等)に着手できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テストは実施しませんので、日頃の活動をいかに記録していくかが大切です。 ・ ノートの状況 ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	資格取得の選定の際多種にわたり選定し無理な計画は立てなかったか。また、逆に安易な計画ではなかったか。それぞれの問題解決にあたり、級友や先生とよく報告・連絡・相談をしながら友好的かつ前向きに解決していったか。	
主体的に学習に取り組む態度	受験する資格取得の選定は自分の進路選択を踏まえてできたか。毎回欠席・遅刻なく出席し、日誌等の提出は、期限を守ったか。日誌や月報の内容は充実していたか。農林館まつりを運営するにあたり、学科やコースを越えてみんなのために貢献できたか。	
【観点別学習状況の評価】		
「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>総合実践</h1>	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第3学年 情報コース

1 学習到達目標等

学習の到達目標	<p>1 これまで学んできた商業科目全般にわたる知識・技術・態度を総合的に学習する。そして、商業の各分野に関する知識と技術を、模擬取引などの実践的活動を通して総合的に学習し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う能力を育てていきます。</p> <p>2 基本的なビジネスマナーや事務文書の作成と、3伝票システムで会計の基礎を学習します。</p>
使用教科書・副教材等	新総合実践「同時同業法を中心として」、新総合実践「同時同業法を中心として」演習ノート、ビジネスコミュニケーション検定模擬問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第1章 総合実践の総説 第2章 礼儀作法 第3章 接遇・マナー 第4章 電話の対応 第5章 文書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 「総合実践」とは、すでに第1学年から学んできた商業科目の知識や技術と商業活動の実践的な業務を合理的・能率的に処理できるよう、商業活動の実践的な学習をとおして、身に付ける科目であることを理解します。 学校生活と職場の生活の違いを理解します。 商業活動に必要な、取引相手とのコミュニケーションとしての礼儀やエチケットについて理解します。 取引相手に対する接遇マナーを理解します。電話はお互いに先方の様子が目に映りませんので、つい失礼な言葉づかいをして、先方の感情を害する結果を招きがちなることを理解します。従って、日頃からよい言葉づかいをする習慣を身に付けるようにしましょう。 	
2 学 期	第6章 取引と書式例 第7章 農林館まつり (販売実習)	<ul style="list-style-type: none"> 売買における取引の基本手続きを理解します。事務用通信文書の、形式や書き方の基本を理解します。文書主義の原則、企業における文書の役割、企業で用いられる文書、文書の帳票化、伝票の種類、押印として、普通の押印・割印・消印・訂正印・契印の役割の違いを理解します。 「課題研究」と連動して、農林館まつりにおける各種業務について、実務を通して学習していきます。 	
3 学 期	第8章 取引演習 模擬実践(自由取引) 決算(決算書類の作成)	第2学期で行った商取引と月末事務の資料に基づいて決算を行います。総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳・商品有高帳・棚卸表・合計残高試算表・精算表・貸借対照表・損益計算書など。これらを作成し、商業の全体像を理解します。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	記帳に必要な仕訳を理解している。帳簿作成に必要な個々の金額の計算ができる。決算に関する計算ができる。「ビジネス基礎」での学習を振り返りながら業務にあたることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしかた 配布物の管理 課題やレポートの内容や提出状況 <p>※ 実習においては、みんなのためになることはどんどん提案&実践してください！</p>
思考・判断・表現	取引の流れや諸帳簿の起票および会計処理を正しく理解している。個々の取引について、それぞれの特徴や手続き、記帳の方法を理解している。また、これまで情報コースで学んできた知識と技術を活用して、農林館まつりの準備や運営にあたっている。	
主体的に学習に取り組む態度	学習内容に関心を持ち、自ら進んで学ぼうとしている。興味のあるところや理解の出来にくいところについて積極的に取り組んでいる。また、実習においては、周囲と共に前向きに取り組んでいる。	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

ビジネスコミュニケーション	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第3学年 情報コース

学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	(1) ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に合わせて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として、創造的に解決しようとしている。 (3) ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して、自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
使用教科書・副教材等	ビジネスコミュニケーション ・ ビジネスコミュニケーション準拠問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第9章 ビジネスの会話 1 国内での接客 2 入国 3 商談と会議 4 帰国	・ 外国に入国する際や商談や会議に必要な英語について理解を深めていきましょう。 ・ ホテルのチェックアウトから空港での出国手続に至るまで帰国の際に必要な英語について理解し、関連する技術を身につけていきましょう。	
2 学 期	第10章 ビジネス文書と電子メール 1 ビジネスレター Business Letters 2 電子メールの利用 Using E-mail 3 貿易取引 Trade Transaction 4 ビジネス文書 Business correspondence	・ ビジネスレター及び電子メールの構成要素と封筒の正しい書き方を理解し、ビジネスレターや封筒を適切に作成練習していきます。 ・ 輸出入取引の流れについて理解し、電子メールの利用で身につけた技術を用いて、適切に貿易取引に関するビジネスメールを作成し、相手方とやり取りすることができるように練習してみましよう。 ・ 売買契約書、信用状、商業送り状、船荷証券、為替手形の模範的な書式を理解し、取引先(仮想)とビジネス文書でやり取りすることができるように演習をしていきます。	
3 学 期	第11章 ビジネスにおけるプレゼンテーション	・ ビジネスにおけるプレゼンテーションの基本構成について理解していきます。また、プロジェクタやレーザーポインタ、オーディオ機器など、プレゼンテーションに必要なツールを有効に利用する技術を身につけて、「情報コース」の生徒に聞いたなら適切にアドバイスやセッティングをしてくれる」と周囲から言ってもらえるようになりましよう。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元テストや定期テスト ・ ノートの状況 <p style="text-align: center;">※メモが大切!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の内容やしかた ・ 配布物の管理 ・ 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている	
主体的に学習に取り組む態度	他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの

「観光ビジネス」	単 位	3 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第3学年 情報コース

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 観光や関連するビジネスについて理解を深め、観光の振興における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養っていきます。 (2) 自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組めるようにしていきます。
使用教科書・副教材等	観光ビジネス (実教出版)・観光ビジネス準拠問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第1章 観光ビジネスの概要 1. 観光ビジネスの担い手と特徴 2. 観光ビジネスの動向 3. 日本の観光政策 4. 観光ビジネスと地域 第2章 観光ビジネスの主な産業 1. 旅行業 2. 宿泊業 3. 旅客輸送業 4. 娯楽業	<ul style="list-style-type: none"> 観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要また、観光を支えるビジネスも理解できるようになりましょう。 観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて、経済や消費者の動向などを踏まえ、日本における経済の発展と関連付けることができるようになりましょう。 	
2 学 期	第3章 観光ビジネスのマーケティング 1. 観光ビジネスの顧客 2. マーケティングの意義 3. マーケティング戦略 第4章 観光資源の発見と活用 1. 観光資源とは何か 2. 観光資源の保護と保全	<ul style="list-style-type: none"> 観光ビジネスにおけるマーケティングについて企業の事例と関連付けて理解するようにしましょう。 観光振興を図るためのマーケティング活動は、観光に関わるビジネスの諸課題を発見し、それを踏まえてマーケティング計画を考えると、それを評価・改善するアイデアを考えられるようになります。 観光資源と観光政策について理解を深め、より良い観光資源の活用に関する計画となるよう、主体的に評価・改善への提言ができるようにしましょう。 	
3 学 期	第5章 地方自治体の観光政策 1. 地方自治体の観光政策の概要 2. 内容	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体の観光政策の概要について理解し、関する課題を発見し、それを踏まえ、観光による地方創生や地域の活性化の方策を協働的に考えていきましょう。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つ知識と技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしきた 配布物の管理 課題やレポートの内容や提出状況
思考・判断・表現	唯一絶対の答えがないことの多い経済社会において、観光ビジネスに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、データ、成功事例や改善を要する事例などを踏まえて、よりよく解決することについて考えている。	
主体的に学習に取り組む態度	自ら観光ビジネスについて学ぶ一員として、自己の役割を認識し、他者と協力しながら、観光資源の効果的な活用、マーケティング、観光の振興策の考案と実施などに取り組んでいる。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

「ソフトウェア活用」	単 位	2 単 位
	学科・学年・学級	生活情報科 第3学年 情報コース

学習到達目標等

学習の到達目標	(1) 企業活動におけるソフトウェアの活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (2) 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組み、ICTをより推進しようとしている。
使用教科書・副教材等	ソフトウェア活用 (実教出版)・全商情報処理検定模擬試験問題集3級・2級 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第4章 データベースソフトウェアの活用 (1) ビジネスとデータベース (2) データベースの作成と操作 (3) 手続きの自動化 (4) データベースの構造 (5) SQL の操作	<ul style="list-style-type: none"> データベースの構造を理解し、効果的な活用方法や役割などを説明できるようになりましょう。 データベースの正規化を通して、膨大なデータベースを構成する思考できるようになりましょう。 SQLの文法を理解し、データベースを適切に操作し、データベースをより良く維持・管理することができるようになりましょう。 	
2 学 期	第5章 業務処理用ソフトウェアの活用 (1) グループウェアの活用 (2) 販売管理ソフトウェアの活用 (3) 給与計算ソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> 販売管理ソフトウェアに関する知識、技術を身に付けましょう。 給与計算ソフトウェアに関する知識、技術を身に付けましょう。 企業活動の業務改善や効率的な処理について、組織の一員として、主体的かつ協働的に取り組もうとしたかが大切です。 	
3 学 期	第6章 情報システムの開発 (1) システム開発の基礎 (2) アルゴリズムの基礎 (3) 情報システムの開発演習	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの基礎的な考え方を理解しましょう。 表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアのプログラミング機能等を利用して、主体的に課題解決を図っていこうとしているかがポイントです。 	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動におけるソフトウェアの利活用について理解し、関連する技術を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期テスト ノートの状況 発表の内容やしかた 配布物の管理 課題やレポートの内容や提出状況 <p>※「商業」の各授業は、配布資料等をいかに自分で管理するかをみています。 ※メモが自分を助けます。</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として創造的に解決しようとしている。 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの